



読書感想文、 するすると書ける9つのSTEP。

いきなり原稿用紙を前にしても止まらない。本選びから下書きまで、**9つのSTEP**で「自分の言葉」を引き出すワークシートです。各STEPを順に書けば、自然と読書感想文の構成が完成します。

👤 小学高学年～中学生

🕒 60～90分（本を読んだ後）

📚 自由研究・夏休み宿題

🖨️ 印刷OK

— このワークシートでわかること

💡 「いきなり原稿用紙」だから、書けなくなる

読書感想文が書けないのは、才能や本の選び方の問題ではありません。「いきなり完成形を書こうとするから」です。プロの作家でも、いきなり清書はできません。まずは「メモ → 構成 → 下書き → 清書」の順に進めば、自然と書けるようになります。このワークシートは、その「メモ → 構成 → 下書き」までを9つのSTEPに分けたものです。

STEP 1-2

本の情報と「選んだ理由」を整理

STEP 3-6

場面・気持ち・経験・学びをメモ

STEP 7-9

構成 → 下書き → 振り返り

💡 まずはウォーミングアップ。読んだ本の情報を整理しよう。タイトル・著者・発行年は表紙や奥付（おくづけ）に書いてあるよ。



タイトル

例：星の王子さま

著者

例：サン＝テグジュペリ

出版社

例：岩波書店

発行年

例：1953年

ジャンル

例：物語／ノンフィクション／伝記 など

あらすじ（1～2行）

例：星から来た王子さまが、地球で会おう人や物との交流を通して、大切なものは目に見えないことを伝える物語

💡 「先生に勧められたから」「家にあったから」でも OK。正直に書くのが大切。あとで「意外な発見があった」とつなげると、感想文が深くなる。

💡 例

「タイトルが気になったから」「アニメ映画で見たことがあって、本ならどう書いてあるか知りたかったから」「夏休みに家族で旅行に行く飛行機の中で読めると思ったから」

この本を選んだ理由

ここに書こう

💡 全部の場面を書こうとしなくていい。「一番心が動いた場面」を3つ選んで、ページ数と一緒にメモしよう。

場面 #1

ページ

〇〇

📖 どんな場面？（誰が・何をした・何が起こった）

例：王子さまが、地球で出会ったキツネに『大切なものは目に見えない』と教わる場面

場面 #2

ページ

〇〇

📖 どんな場面？

場面 #3

ページ

〇〇

📖 どんな場面？

💡 「すごい」「いい」「悲しい」だけだと、伝わりにくい。下のヒント語から、じっくりくるものを選んだり組み合わせたりしよう。

うれしかった

びっくりした

悲しかった

むずかしかった

じーんと来た

怒りを感じた

なぜだろうと思った

分かるなあと考えた

こわかった

なつかしかった

許せないと思った

勇気もらった

ホッとした

心が動いた

気づかされた

♥ 場面 #1 で思ったこと

例：キツネの言葉を読んだとき、じーんと心に来ました。私もこれまで「目に見えるもの」ばかり気にしていたなと…

♥ 場面 #2 で思ったこと

♥ 場面 #3 で思ったこと

5

自分の経験とつながることはある？

💡 ここが感想文を「自分のもの」にする一番のポイント。本の中の出来事と、自分の経験（学校・家族・友達・習い事 など）をつなげよう。

✂ 例：本の場面 ⇄ 自分の経験

本の中で「王子さまがキツネに大切なものは目に見えないと教わった場面」を読んで、私は「おばあちゃんが入院した時、毎日電話で話していたら声だけで元気がわかるようになったこと」を思い出しました。

📖 本の場面 ⇄ 自分の経験 のつながり

例：本の中で『○○な場面』を読んで、私は『△△な経験』を思い出しました。あの時の自分は…

6

この本から学んだこと・これからしてみたいこと

💡 「学んだこと」を抽象的に書きすぎないコツは、「これから具体的に何をしたいか」もセットで書くこと。

🌱 この本から学んだこと

例：目に見えないものを大切にする

例：時間をかけて関わりと絆ができる

🚀 これからしてみたいこと

例：おばあちゃんへの電話をもっと丁寧に

例：友達の話最後まで聞く

💡 ここまでに書いたメモを、4ブロックに振り分けるだけで読書感想文の骨組みができる。下書き不要・そのまま原稿用紙に書いていけば完成。

① はじめに

本のタイトル・選んだ理由（STEP 2 を使う）。200～400 字。

ここに書こう。例：『星の王子さま』という本を選んだのは…

② 心に残った場面

心に残った場面 1～3 と、その時の気持ち（STEP 3・4 を使う）。400～800 字。

例：私が一番心に残った場面は…

③ 自分の経験とつながる

自分の体験との橋渡し（STEP 5 を使う）。本の「外」とつながる、感想文で一番大切な部分。300～600 字。

例：この場面を読んで、私はある経験を思い出しました…

④ これから・まとめ

学んだこと・これからしてみたいこと（STEP 6 を使う）。200～400 字。

例：この本を読んで、私は…と気づきました。これからは…

✎ 字数の目安

小学生（400字×3枚＝1,200字）：①200 → ②500 → ③300 → ④200

中学生（400字×5枚＝2,000字）：①400 → ②800 → ③500 → ④300

8

下書き → 清書 → 提出前チェック

💡 STEP 7 の4ブロックを順につなげて原稿用紙に書こう。書き終わったら下のチェックリストで確認！

- ☐ タイトルと著者名を書いた
- ☐ 「あらすじだけ」になっていない
- ☐ 自分の経験・気持ちが書かれている
- ☐ 「すごい」「いい」だけで終わらせていない
- ☐ 段落ごとに改行している
- ☐ 漢字の間違い・誤字脱字を見直した
- ☐ 声に出して読んで、つまるところがないか確認した

🌱 書き終わってみて、最初の自分とどう変わった？

🌱 また読書感想文を書くなら、どこを変えたい？

📖 家族に読んでもらって、「一番響いたところ」を聞いてみよう。



友達の感想文と読み比べて、視点の違いを楽しもう。同じ本でも見え方が違う！



今回の本が好きだったら、同じ作家・テーマの本も読んでみよう。世界が広がる。